

# 校長だより

校長 淀 廣治

保護者の皆様へ 1学期も終わろうとしています。お子様は1学期 勉強とクラブ活動の両立はできましたか。期末考査の結果はいかがでしたか。お母さんの子供たちへの「褒め言葉」や「励ましの声かけ」は功を奏しましたか。子供はそんな親の苦勞も知らないで、楽しい夏休みに向けてまっしぐらかもしれませんね(3年生以外は)。中には三者懇談で担任の先生から厳しいお話がある方がおられるかもしれませんね。結果はどうであれ頑張ったことに関しては褒めてあげてください。そして、成長していることを認めてあげて、次に繋がるようなお話をしてあげてください。「よし、次はもっと頑張るぞ」と思うようなお話をしてあげてください。

私は「教育」を共に育つ「共育」でもあると思っています。教師と保護者の皆さんが理解し、協力しながら子供を育てていくことが大切だと思っています。その意味で四條畷学園中学校の保護者の皆さんは最高です。学校への温かなご理解と力強いご支援には深く感謝しています。

いよいよ子供たちが待ちに待った**夏休み**が始まります。私も今でも学生時代の夏休みに入る前の嬉しかったことを思い出します。お父さんやお母さんも夏休みに入る前は嬉しかったのではないのでしょうか。そして2学期の始業式前の宿題が出来ていなかった辛さ、嫌でしたね。子供達には充実した満足感のある夏休みを送ってほしいものです。

## 先生は今

先生は今(6月24日)、期末考査の問題を頑張っ作っています。授業で教えたことを子供たちがどれぐらい身につけているかを教師が知ることも試験の意義です。教え方、興味の持たせ方、理解度のチェックの仕方など先生にとっても試験です。やる気を起こさせる適度な難易度と問題量など、先生の工夫には限りがありません。生徒以上に反省すべきことが多いかも知れませんね。私はいつも反省ばかりでした。

7月5日 先生達は期末考査の採点と評価をつけるのに忙しくしています。そして夏休みの宿題作り、そして皆様方との三者懇談の準備に余念がありません。またクラブ活動は夏の大会に向けての練習に熱が入ってきています。

夏休みの期間は先生方も生徒と同じように自己の成長を目標に色々な勉強に取り組みます。先生のそうした努力は必ず生徒に還元され、生徒の成長に繋がっていきます。子供は親の、生徒は先生の背中を見て育つわけですね。信頼され、尊敬される教師になるためには努力しかありません。

若い先生は勿論、何歳になっても教育に携わる以上、勉強し続ける必要があると思っています。

又、体育会や文化祭などの計画にもすでにとりかかっています。又、中学入試の受験生を募集する説明会なども本格化し始めています。私学の教師ならではの仕事もいっぱいあります。

## スポーツ大会 みんな頑張ったスポーツ大会でした。

雨の心配をしていましたがなんとかもちました。暑くもなく絶好のスポーツ日和になりました。

### ソフトボール大会



思いっきり打って走って守って楽しい時を過ごしました。



## バレーボール大会

日頃の練習の成果が出ましたか



きっちりとボールを返すことができるのが基本ですね。勝敗も大切ですが、友達の実力を気遣っているみんなの姿が素晴らしいと思いました。一番つらい思いをしているのはミスをした本人ですものね。みんなエライ

## バドミントン大会



さすがレベルが高いですね。ケアレスミスをする選手はほとんどいませんね。今年は体育館の中も例年ほど暑くはなくて良かったです。

## ドッジボール大会 (一年生)



一年生全員の種目です。みんながルールをしっかり守って行っていることが目につきました。当たり前のことですが、勝負にこだわって違反してしまうこともあるのですが今年の一年生はなかなかやりますね。

## スポーツ大会の開会式でこんな話をしました

何を学ぶかを意識して取り組めば、**得るもの**の大きさが変わってきます。

**努力する事**の大切さを学んでください。練習することによって上手になっていきます。

練習していて「何事も努力することが大切だ」ということを学んでいると思います。しかし、練習しても上手くできなくて悔しいこともあります。「もうだめだ」と思ったときでも、「**あきらめずに最後までやり通す強い心**が大切だ」ということを学んでください。「**自分の心の弱さに勝つ**」ことを学んでください。先生の好きな言葉に「**繰り返しはパワーを作り、持続は奇跡を生む**」ということばがあります。「**あきらめてはダメだ**」ということばを学んでいると思います。**協力**することの大切さを学んでいると思います。みんなで協力することの**難しさ**と**大切さ**を学んでいると思います。運動の**得意な子**や**不得意な子**もいます。みんなで**協力**することの**大切さ**、**心の繋がり**や**思いやりの心**の大切さを学んでください。[温かい励ましの一言]がチームワークを作ります。

スポーツには全てルールがあります。**公平に正々堂々と競う**ことがスポーツです。

スポーツ大会を通してルールを守って**正々堂々と競うこと**の大切さを学んでください。

又、**応援**にもルールがあります。**相手チームをやじったり、けなしたり**することはスポーツ精神に反することです。先生は人として、すべきことではないと思います。

日本古来から行なわれている**相撲**や**柔道**・**剣道**・**弓道**などでは相手を励ますことはあっても、相手を**けなす**ことなどありません。応援する人も、この世界に**誇れる日本の精神**を忘れないでください。

相手の失敗を期待したり、喜んだりするような気持ちではなく、お互いに全力を出し切って競技することに意義を感じられるような人になってほしいです。

**勝ち負けの受け止め方** スポーツ大会では**勝敗**が決まります。勝ったチームも負けたチームも、みんなで協力できた**充実感**と**正々堂々**と戦った**満足感**があるはずです。勝ったチームは喜びを感じ、負けたチームは悔しさを感じるでしょう。それは当然のことです。また、そうでなければいけません。そこで、**やって欲しくない事**があります。**勝ったチーム**は負けたチームを**貶(けな)**したり、**見下**したりしないでください。**負けたチーム**は自分のチームの**仲間の失敗**を責めないでください。そして、お互いに頑張って戦った**相手チーム**の健闘を**褒め**称えてください。みんなが**気持ちの良い、楽しい**スポーツ大会だったと思えるように**一人ひとり**が協力し、努力してください。宜しくお願いします。このスポーツ大会を通して、皆さんが**身も心も共に成長**することを期待しています。それでは怪我のないように思いっきり取り組んでください。

**スポーツ大会**の結果です。みんなよく頑張りました。

順位	年	組	種目	順位	年	組	種目
優勝	1	D	ドッジボール男子	優勝	2	B	バレーボール2年生
準優勝	1	B	ドッジボール男子	準優勝	2	C	バレーボール2年生
優勝	1	D	ドッジボール女子	優勝	3	D	バレーボール3年生
準優勝	1	C	ドッジボール女子	準優勝	3	C	バレーボール3年生
優勝	3	B	バドミントン男子個人	西脇・西村組			
準優勝	3	B	バドミントン男子個人	木下・栗田組			
優勝	2	B	バドミントン女子個人	河合・金谷組			
準優勝	2	C	バドミントン女子個人	高江・三ッ川組			
準優勝	2	B	バドミントン女子団体				
準優勝	3	A	バドミントン女子団体				
優勝	3	C	ソフトボール				
準優勝	2	A	ソフトボール				



みんな本当に楽しく競技をしていました。見ている先生も楽しくうれしい気持ちになりました。病人も怪我人もありませんでした。又、応援のマナーも大変良かったと思います。先生は皆さんの楽しそうな一生懸命な表情が見られてとてもうれしかったです。勝ったチームも残念ながら負けたチームも精一杯がんばりました。素晴らしいスポーツ大会だったと思います。先生方も慣れない審判や競技に参加したりと大変だったと思います。ご苦労様でした。有難うございました。

## スポーツテストの表彰も同時に行いました。



みんなよくがんばりました  
もちろん、本校は平均よりも  
随分高かったです。

## 3年生 進路説明会ではこんな話をしました。

今こそ、受験勉強を通して自分自身を鍛える絶好のチャンスです。

### 進路説明会 三年 生徒対象

こんにちは、修学旅行も終わり、いよいよ待ちに待った受験勉強に突入する時期が来ましたね。目標をしっかり定めて、その目標に向かって全力で頑張ってください。全力で頑張ることによって色々なことが見えてきます。入試の事をよく**受験戦争**といいます。**戦う相手は勿論自分自身**です。**自分の心の弱さ**との戦いです。結果は後からついてきます。

結果というのは、今、この**瞬間の積み重ね**です。今日この一日を、今のこの一瞬を懸命に頑張ることによって、**未来**が開けます。君たちにとって、この**高校受験**は人生の大きな**節目**です。逃げずに**立ち向かって**乗り越えて下さい。人として、大きく成長できるチャンスです。この**チャンス**を物にするのもしないのも皆さん次第です。

### アドバイス 受験に立ち向かう心の持ち方

- ① **自分に自信を持たせる**ことです。「自分は出来る人間である」「自分は頑張れる人間である」「自分をもっともっと頑張れる人間である」と5分ぐらい唱えてから勉強に臨んでください。不思議と本当にそのような人間になっていきます。
- ② まだ8ヵ月もあります。まだまだ**伸び**ていきます。今の学力で希望校を決めてはダメです。本当に進学したい、君の夢を実現できる学校を目標にしてください。**人間の能力**を甘く見たらダメです。**本気**でやれば**不可能**ではありません。自分の**潜在能力をON**にするためには**プラス思考**などの**前向きな心**の持ち方が大切です。
- ③ 「**志**」(**こころざし**)を持ってください。**志**とは**夢を実現させる信念**のことです。「**心が決まったとき、勝負はすでについている**」といいます。「出来るだろうか」などという**不安や弱気**は、本気で**やると決めていない**から出てくる**心の弱さ**です。**やると心が決まれば不安な気持ちは消し飛んで**しまいます。【**人は思ったことしか実現できない**】と言います。先ず思うこと、強く決心することです。「自分に打ち勝つ」「甘えを許さない」皆さんの中で、本気モードに入っている人はまだ少ないです。これから入試までの**頑張りは皆さんの一生を支えてくれる大切な時間**となります。悔いのないように思いっきり気合を入れて頑張ってください。先生の経験から見ると、**皆さんは自分でもビックリするぐらい伸びます。必ず伸びます。**自分の**能力**を信じてやるべきことを全力でやってください。自分を**成長**させる**絶好の機会**がここにあります。頑張ってください。期待しています。

保護者の皆様への挨拶

こんにちは、校長の淀です。お忙しい中、進路説明会にご出席いただきましてありがとうございます。

昨日 私は生徒たちには次ように話をしました。

- 受験勉強は自分自身を成長させるチャンスです。
- 受験戦争とも言いますが、戦う相手は自分自身です。

受験に立ち向かう心の持ち方

- ① 自分に自信を持たせることです。「自分は出来る人間である」と言うようなプラス思考の内容を毎日唱えて勉強に臨んでください。不思議と本当にそのような人間になって行きます。
- ② まだ8ヶ月もあります。どんどん伸びていきます。今の学力で希望校はきめてはダメです。  
こころざし
- ③ 「志」を持ってください。志とは夢を実現させる強い信念のことです。本気でやる気になれば不安な気持ちは消し飛んでしまいます。「心が決まったとき、勝負はすでについている」と言います。これからの頑張りは皆さんの一生を支えてくれる大切な時間となります。と言うような内容を話しました。

保護者の皆様にお願ひすること

保護者の皆様はどんと構えておいてください。保護者の皆様が不安になったりしないようにしてください。お母さんが不安になったり心配すると子供も不安になったり心配します。これは、子供が全力で取り組む気持ちをなくさせてしまいます。保護者の皆様は子供には「あなたを信じている」という気持ちを全面に出してください、又その気持ちを伝えてください。子供たちは信じられると、やる気になります。特に親から信じられていると感じると、それは子供には凄<sup>やみくも</sup>いパワーとなります。是非、子供に「やる気のエネルギー」を充電してあげてください。但し、子供と色々な話をしてください。

子供が何を考えているのか知らないまま、闇雲に子供を信じるのは「溺愛」に繋がってしまいます。子供の状態をよく見て理解して、その上で信じてあげてください。

高校受験の時期は子供にとってやりがいのある時期でもありますが、非常に辛い時期でもあります。しかし、この時期の頑張りはお子様の一生を支えてくれる大切な経験となります。そしてお子さんが大きく成長する時期です。保護者の皆様も「お子様と一緒に頑張り、一緒に成長するんだ」という気概を持って頂けたらと思っています。我々教師陣も全力を尽くしますので、よろしくお願ひいたします。一緒に頑張りましょう。



平成26年度 第一回 塾の先生対象 入試説明会



中学・高校を代表いたしまして挨拶しました。

私たちは塾の教師と学校の教師と少し立場は異なりますが、教育に携わる者として、一番望んでいることは、子供たちが幸せな人生を送ってくれる事だと思ひます。

本学園は、2016年に創立90周年を迎える、伝統ある総合学園です。そして、来年の1月には幼稚園と大学の看護学科(申請中)の新校舎が完成します。その後、中央の道路の緑地化と整備を行ないます。同時に小学校校舎の新築が計画されています。

発展していく四條畷学園が目に見える形でどんどん実現していきます。

## 四條畷学園小学校対象 入学説明会 6月12日



(生徒も手伝ってくれています。)

学園小学校の保護者の皆様が授業見学をして下さいました。

入学説明会に参加していただき有難うございました。コースの紹介は在校生が行いました。中学校の温かな校風と規律ある伝統が伝わったと思います。先生の説明よりも上手く伝わったと思います。保護者の皆さんは非常に聞く姿勢が良く、熱心で感心しました。又、児童のみなさんも学校見学とクラブ見学を楽しんでくれました。気持ちの良い児童たちでした。入学することを楽しみにしています。

## 外部小学校対象 授業見学会 6月21日外部小学生対象の授業見学会を行いました。240名



以上の方が参加してくれました。

生徒たちはいつも通りしっかりと授業を受けていましたね。見学者の皆さんも「素晴らしい」と感心しておられましたよ。さすが四條畷学園中学校

の生徒ですね。先生からもお礼を言います。

私が**お話している内容**は次のようなことです。

私たち教師が一番望んでいることは、子供たちが**幸せな人生**を送ってくれることだと考えています。

そして、子供たちに一番、身につけて欲しいことは「**生**

**きる力**」だと思っています。「自分の**人生**を大切にすること、自分の**人生**を切り開いていく**能力**を身につけること」だと思っています。そして「**幸せ**」だと**感じる心・感謝する心**を持つことが大切だと考えています。

本学園は創立以来の建学の精神である「**報恩感謝**」のもと、「**個性の尊重**」「**明朗と自主**」「**実行から学べ**」「**礼儀と品性**」の四つの教育方針に基づき**知・徳・体**の**バランス**の取れた**健全な人格**の育成を目指しています。教育の**基本**である **知・徳・体**の中で一番点数化しにくい、見えにくい「**徳**」の教育が軽んじられる傾向があります。どんなに多くの知識を習得しても、その知識をどのように使うかは**道徳心**に基づく**人格**が決定します。「**何が良くて、何が悪いのか**」など、人としての**道徳心**の育成が大切だと考えます。そして「**思いやりの心**」や「**感謝の心**」などの**心の教育**に力を入れる必要があると思っています。また、**挨拶や言葉遣い**などの**良い生活習慣**を身につけることが、子供の「**やる気**」を引き出し、子供が成長していく**基礎**を作ると考えています。四條畷学園中学校は子供たちが仲良く、そして子供と先生も仲の良い、「**家庭的なぬくもりのある学校**」として高い評価を受けています。

「勉強も頑張っていますが、行事やクラブ活動を通じて道徳心などの徳育教育に力を入れており、**バランスのとれた人格の育成**を行うことを重要だと考えている」ことをお知らせしました。

## 6年一貫コース 社会人講座です

歴史学者の 武田 佐知子先生の講演です。



「ズボンとスカートの歴史学」というテーマで西洋の歴史を説明していただきました。歴史をある切り口から見ることで、歴史の流れや現在そして未来を考察することの大切さを教えていただきました。

プロフィールエンデバージャパン 福祉事業長 松浦一樹先生



京都府警を退職し、福祉施設職員になられる。NPO 法人 ENDEAVOR JAPAN(就労支援事業所) 設立 統括事業長就任。  
「失敗してもいいやん！一緒にやり直そう！」と言える仕事がしたいと思ったそうです。夢をあきらめずに頑張ることの大切さを話していただきました。

元ヤナセ代表取締役社長 RUN・WELL Company 代表 井村周平先生



「営業活動から学んだ言動の大切さ」営業の心得のお話を通して人の道を説いていただきました。又、人との出会いの大切さなどをお話していただきました。少し難しい内容の所もありましたが生徒たちは必死で理解しようとしている様子が伝わってきました。

I Z U E 建築デザイナー 出江潤先生 磯久五郎先生

1年生対象に力学のクイズなどを出して楽しく建築のお話をしていただきました。勉強に対する心得も1年生にも判りやすく説明してもらいました。毎年お話をいただいています。今年で5年目です。



考えることって楽しい。

わかる事って感動することです。

# 防災訓練 6月5日(水)

中学と高校の合同防災訓練です。



中学校では毎年、救助袋の実地訓練を行なっています。全ての先生に体験してもらっています。使用の仕方を自信を持って生徒に伝えなければダメですからね。足でブレーキをかけます。無事着地しました。ご苦労さまでした。



今年は地震が起こり、出火したという想定で行いました。全員がヘルメットをかぶり東グラウンドに速やかに集合です。消防署の方から色々な諸注意や避難の仕方、日頃からの備えの大切さなどを話していただきました。

## 救命講習

中学校ではすべての教職員が普通救命講習修了証を持っています。

AEDの使用法や人工呼吸法の講習を今年も行いました。

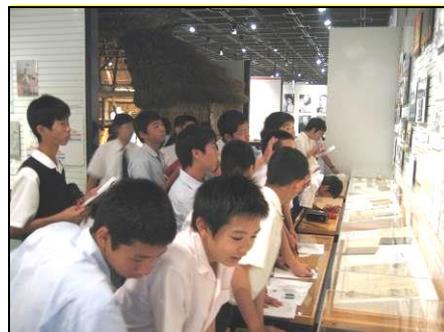
消防署の方に講師に来ていただき3時間実地訓練をしていただきました。

最近も他校でクラブ練習中にAEDを使用しなかったために、生徒が死亡した事故が新聞に掲載されていました。本校では大切な生徒を守るために、できる限りの準備と努力をしています。



## 人権学習リバティーおおさか

3年生は人権学習の総まとめの勉強としてリバティーおおさかに行ってきました。「差別は必ず食い止める」という強い意志を持って勉強に取り組んでいます。



孫育ては楽しむ感覚がちょうどいい。逸る気持ちや義務感<sup>はや</sup>はできるだけセーブして無理なく、気合を入れすぎず、接していて「楽しい」と思える付き合いがちょうどいい。

## 祖父母の孫育て習慣

孫の成長は祖父母の願いでもあります。将来「幸せな人生をすごしてほしい」と思うのは両親のみならず祖父母も同じです。夏休みなど孫と接することが多くなると思います。是非積極的に孫育てに参加してみてください。

私の経験から見て、伸びる子供は「素直な子供」です。では、素直な子供に育てるにはどうすれば良いかをまとめてみました。(子供と書いているところは「孫」の意味です)

### 子供の言い分を良く聞いてあげること

頭ごなしに否定するのではなく、まず子供の言い分をよく聞いてあげてから、言い分が間違っていたら理解できるように諭してあげてください。親も忙しくてもそのようにしてほしいものです。

### 子供の良い面を褒めること

悪い面を指摘して叱る事は多いのですが、良い面を褒めることの方が何倍も大切です。怒られて育った人は自分の子供も怒って育てるようです。そこで人生経験が豊富で分別のある祖父母が孫を褒めてあげるのです。

昔から「祖父母は孫に甘い」と言われます。孫の悪い面に目をつぶって溺愛することは孫の成長には良くありませんが、良い面を褒めることはどんどんやってください。

### 結果だけではなく、努力したことを評価すること

努力が結果に表れるまでには時間がかかります。何カ月も何年もかかることもあります。諦めずに努力し続けることが大切です。そのためには結果が出ていなくても努力を認めて評価することが必要です。ここでも人生経験豊富な祖父母の出番です。努力は裏切りません、必ず成長させてくれます。

### 子供のありのままの姿（感性）を受け入れること

感性はその人の本質です。感性を育てるためには子供のありのままの姿を受け入れることが前提になります。祖父母の場合は誕生日などの行事を大切にしたり、感動を演出して孫の心をワクワクさせることも1つです。

**約束は必ず守ること**（孫との約束は必ず守り、約束の大切さを教えてあげて下さい）子供は些細な約束もよく覚えています。親や祖父母が約束を守らないと、子供も約束を守らない人に育ってしまいます。小さな約束を守る積み重ねが信頼につながります。

### 非があればきちんと謝ること

ごまかしたり、人のせいにするのではなく、祖父母自身が素直な真摯な態度で非を認めて謝ることが大切です。（非を認めることはカッコいいことであり、人として大切なことだと教えてあげて下さい。）

かくし事や大人の都合でごまかしたりしないようにしてください。しっかりと本音で人の道をお話してあげて、祖父母も実行していることを示してあげることが大切です。

社会的な約束やルール「青信号で横断歩道を渡る」などの社会道徳も身につけさせることが必要です。書いてみると祖父母に限らず子供の成長に欠かせない内容ばかりですね。

### 孫に社会力をつけよう

祖父母が育った社会と今の社会を比較することでより社会について考えることが出来ます。

### 祖父母の育った時代のことを話してあげよう

今の子供は生まれた時から携帯電話もありコンピューターもある時代です。でも祖父母の皆さんが子供の時にはなかったと思います。子供には話してあげないとわかりません。学校の先生も知らない時代です。

今の社会を作り上げてきた努力と苦勞を伝えてあげて下さい。そして日本が世界でも例をみない戦後の復興を成し遂げたことを伝えてあげて下さい。

### 孫と世の中のことについて話し合ってみよう

お父さんやお母さんが忙しくて子供とゆっくり話が出来ないご家庭では祖父母とのコミュニケーションが大切になっていきます。日本のことや世界の子供たちのことなど孫の年齢にあわせてお話してあげて下さい。本屋さんで勉強することも頭の体操になるかもしれません。一石二鳥です。又祖父母が昔親から聞いた戦争の話なども伝えてあげることも大事だと思います。

その他、仕事のことやお金のことについて話してみることも良いと思います。

## 英数発展コース 全体ガイダンス



1年生から3年生までの英数発展コースの生徒が集まり、授業の受け方や勉強の仕方・クラブと勉強の両立の仕方などを話し合っていました。

## 英数発展コース 先輩に聞く

(大手前高校1年)

(北野高校1年) 二年生に勉強のやり方や高校生活についてお話してもらいました。



(奈良教育大学1年)



三年生に高校・大学の選択や目標や生き方などのお話をしてもらいました。

中学時代の勉強のやり方、心の持ち方などを教えてもらいました。

3人とも素晴らしく、先生が日頃思っていることを適格に具体的にわかりやすく話してくれました。ありがとうございました。

## ちょっと 独り言

東京都議会で女性議員に対する女性蔑視の「ヤジ」がありましたね。普段、日常の社会生活でも考えないし、言わないような言葉を議会で大きな声で使うなど私には信じられませんでした。テレビのインタビューではそれを擁護するような議員の発言もあり情けなく感じました。議会では提案や主張に対しての反対意見はあるでしょう。でもそれは「ヤジ」ではなく討論の形で行われるべきことだと思います。選挙で選ばれた議員が人を傷つける発言をしていることは日本の恥です。子供たちの学級会で同じことが起こったら、先生は厳しく指導するはずですが、この事件を知り、世界が日本の政治家の人としてのレベルの低さを知ったことに悲しくなりました。子供たちに誇れる凛とした政治家集団であってほしいです。ほとんどの政治家は一生懸命に日本国民のことについて頑張って活動しています。メディアも良くないことや事件・事故ばかり報道せず、頑張っていることおとしも報道してほしいですね。私は日本のメディアは他国の批判はしないが自国の批判や自国を貶める自虐的な内容の記事や報道が少し多いように思います。ご家庭で社会のニュースについて話し合ってみることも、子供たちの成長には大切です。

幸せな人…感謝が基本の考え方

(例：夫が～してくれる)「ありがとう、恩返ししよう、なんて自分は幸せなんだろう」と思うと、相手も同じようにあなたに感謝の気持ちを抱いてくれます。

幸せでない人…不満が基本の考え方 (例；夫が～してくれない)「～するのが当然だろう、自分もしてやらない、なんて自分は不幸なんだろう」と思うと、相手も同じようにあなたの悪いところを探して批判するようになって行きます。

「ありがとう」って言われるのはうれしいものだ。

もう一度「ありがとう」って返したいくらいね

「ありがとう」が言えて、幸せを入れるポケットが心に生まれる。(奥野敦士 詩集より)

## PTA役員会

本日はご多忙中にも関わりませず **PTAの役員会**にご出席していただきましてありがとうございます。今年も引き続き皆様方の**温かなご理解**と**力強いご支援**を頂きまして感謝しております。ありがとうございます。1学期の大きな行事も無事終わり、後は水泳大会を待つばかりになりました。

明日で期末考査も終わり、そして皆様方との三者懇談が15日(火)より始まります。成績の結果にばかりとらわれないでください。生徒たちは**勉強や各行事**に本当によく頑張っていて取り組んでくれたと私は思っています。努力は嘘をつきません。結果はすぐに出なくても**努力した分だけ**人間として成長しています。生徒は自分の成長は気づきにくいので、お母さんが気付いて認めてあげてください。本人の自信につながると思っています。宜しくお願ひします。

**夏休みの過ごし方**について少しお話をします。夏休みは自分の時間が作れます。時間をどのように使うかを生徒自身が**考える**ことが大切です。**考える能力**を付けるといっても何をしていいかわからない生徒もいます。発想を豊かにする短歌や俳句、絵を描くことも良いと思います。学習面で考えるとまず、学習**計画**です。夏休みの目標設定(教科やページ数など)と実行方法(時間設定)の計画作りです。お母さま方から見ると**とんでもない計画**かもしれません。計画づくりに一生懸命で**実行できない**生徒もいます。かまいません、まず自分で目標を決めて計画を作り、実行してみることです。そして、失敗します。失敗から多くのものを学びます。

**1年生**は中学校最初の夏休みを迎えます。宿題も出します。特に学園小学校の出身の生徒さんには初めての経験かもしれません。宿題をしっかりとやること、クラブ活動も頑張ること、興味のある自主研究にも取り組むこと、**目標と計画**をしっかりと立てて実行させてください。勿論、家庭のお手伝いはしっかりとやらせてください。

**2年生**の夏休みは本人が思っている以上に大切です。たぶん1年生のときに立てた計画は失敗していると思います。その反省に基づいて2年生で計画が立てられるかどうかです。**勉強のレベル**もアップしていますし、**クラブ**での重要度も増しています。1年とは比べものにならないほどハードな計画になるはずですが、この2年生での計画作りと実行の是非が**3年生の夏休み**の時間の使い方に大きく影響してきます。とにかく2年生では結果はともかく、計画通りに実行することに全力を尽くすことが大切です。

**2年生**はよく**中だるみ**の学年と言われますが私は**挑戦の年**だと考えます。チャレンジできる学年です。本気でやった失敗は次に繋がりますが、いい加減な気持ちでの失敗は失敗を繰り返すだけです。勉強やクラブ活動だけではなく、**必ず家の手伝い**をやらせてください。

**3年生**の夏休みはとにかく**猛勉強**です。3年コースの3年生は夏休みの失敗が高校受験に関して致命傷になりかねません。

**3年コース**では**習熟度別の夏期講習**を実施しています。学力に合った勉強を能率よく行い、弾みをつけてそこから後は**自分で頑張ってもらいます**。1日24時間をどのように使うかは、自分でやる習慣・意欲が身についているかで決まります。講習以外に最低でも8時間以上の勉強が必要です。そして、勉強の中身が大事です。頑張らずに学力がつくことはありません。

**6年一貫**の生徒達は1年生の時から、実は英数発展コース以上の勉強をやっています。又、放課後8時までの自学自習の時間や24時間勉強漬けの勉強合宿などで自分の限界を超えた体験をしています。決められたことを詰め込こむのではなく、自分で**考えながら学習**しています。一見、**回り道**に見えるかもしれませんが、本当の意味での人間力をつけていると考えています。大学に入るだけではなく、社会に出て貢献できる人に育つには一番の近道だと思います。高校受験が無い分、高校内容の学習に入っていきます。受験が無い分、より一層自分に厳しく大切な時間を有効に使ってほしいと思っています。**卒業論文**への取り組みなど、色々と対策を練っています。

学年やコース、入っているクラブなどによって違いますが、**体も脳もそして心も最も成長する年齢**の夏休みを無駄に過ごすことなく、是非がんばってほしいものです。

それからもう1つお願いがあります。

**家庭の仕事の手伝い**は必ずやらせてください。勉強さえやっていれば**クラブ**さえやっていたら、手伝いは**しなくていい**と言う考えは持たせないようにお願いします。家族の一員である以上、手伝いは当たり前です。夏休みの期間中だけでも家族で**役割分担**を決めてください。〔家族会議〕

**手伝い**をすることによって子供の**優しさや協調性**を高めることができます。何よりも手伝いの**良い点**は、手伝いをしてもらって**有難かった、助かった**という「**褒める**」材料を作り出せることです。

**感謝の気持ち**を子供に**伝える**きっかけを作り出せることです。親子の**信頼関係**をより深く出来るということです。**批判だけ**で終わっては逆効果です。**お皿の洗い方**が悪いとか、洗濯物の**たたみ方**が悪いとか、「**もう二度とやるものか**」と思わせてしまうような言い方はしないようにしてください。

**褒めて・感謝の気持ちを伝えて・またお願いね**と次につなげることが大切です。

**料理**を手伝ってもらうのも非常に良いと思います。勿論、お母様のように上手に出来ないのは当然ですので、ここでも**ダメだしは禁物**です。

「**上から目線**」これが問題です。**考える力**を伸ばすのも、**手伝い**にしても、大人から見るとまだまだ不十分で頼りないです。幼い子供に「**もっと早く歩けないのか**」としかるのと同じです。考える力を伸ばすのも、手伝いも「**お説教とセット**」にしてはだめです。

## 日本の伝統行事

### ■お盆■

お盆の正式名称は「盂蘭盆会・うらぼんえ」と言います。先祖の精霊を迎え追善の供養をする期間を「お盆」と呼びます。7月または8月の13日より16日までの4日間をさします。13日の夕方に迎え火を焚き、先祖の霊を迎えます。期間中には僧侶を招きお経や飲食の供養をします。16日の夕方、送り火を焚き、御先祖さまにお帰りいただきます。お墓参りになかなか行けない人も、日頃のお礼の気持ちをご先祖様に伝えるいい機会です。地方によってその日程、盆棚の飾付け方などは多少異なりますが、その心は同じはず。家の事情によってお仏壇を置いていない家庭も多いようですが、お盆の間だけでも先祖への気持ちを大切に、簡単なお飾りだけでも作りませんか？先祖への感謝の気持ちが大切です。

## 水泳大会

学年別の行事です。競泳だけでなくみんなが楽しく参加できる種目も用意しています。

全員参加で「青春の水しぶき」をあげて熱戦を繰り広げました。1年生から3年生まで競技も応援も清々しくて素晴らしかったです。さすが四條畷学園中学校の生徒だと感動しました。



## カエルの解剖の授業風景です



普段あまりカエルには接していない現代っ子なのに、よく頑張っていました。エライ！ウシガエルは外来種なので、取り扱いは厳重です。逃がすわけにはいきません。命の大切さと重さを感じながら

勉強しました。カエルは、両生類で形体はちがいますが、人間と同じようなつくりをしています。カエルの心臓は2心房1心室で、ヒトの心臓は2心房2心室です。知っていましたか。

## 調理実習の様子です

未来のシェフを目指して頑張っています。食べることは健康の基ですものね。

(カエルの解剖の蛙は高級食材を使っていますが、調理実習では使用していません。念のため)



## 情報モラル講演会

竹内 和雄 先生 (兵庫県立大学准教授)



生徒たちにスマートフォンやラインの危険性についてわかりやすく、楽しく、具体的に話してもらいました。事前のアンケート調査を基に本校の生徒の状態に合った内容の説明をしていただきました。夏休みになるとスマートフォンやゲームからネットに入り、取り返しのつかない危険な状態になる生徒が増えるそうです。本校ではそのような生徒が出ないように具体的な事例をあげて説明してもらいました。生徒たちは真剣に頭で心で受け止めていました。最後に何かあれば「自分で抱え込まないように」必ず大人に相談するようにと強く言われていました。

## インターネットより

(少し感動しましたので掲載します。) おじいちゃんは老いから手足が不自由で

トイレも1人では厳しい。だから、いつもはおばあちゃんが下の世話をした。おばあちゃん以外が下の世話を

するの嫌がったからだ。ある日、家に私とおじいちゃん2人になった。おばあちゃんが倒れてしまい母と兄は病院、父は会社から直行したからだ。おじいちゃんと留守番していると申し

訳なさそうに「ももちゃん、悪いんだがトイレに…」って言った。

私は本当に馬鹿だなんて思った。一人じゃ行けないの知ってたくせに気が付いてあげられないなんて。孫、それも女には言いづらかったらうなって。トイレに行くとパンパースが小と大で汚れた。たくさん我慢させてしまった。私はおじいちゃんの気を反らそうと学校であった笑い話を精一杯明るく話した。お風呂場で体を洗ってパンパースつけてホッとした。同時におばあちゃんは毎日これをしてるんだと思うと何とも言えない気持ちになった。そして「悪かったね、ありがとう」って五千円をくれようとした。おじいちゃんは本当に馬鹿だなんて思った。私が赤ちゃんの時、両親は共働きでした。おしめを変えて育ててくれたのは貴方じゃないですか。幼稚園だって塾の送り迎えだってしてくれたのは貴方じゃないですか。

あれは無償の愛でしょ？私はおじいちゃんが大好きだよ？だからお金なんかいらんないんだよって言った。

2人してちょっと泣いた。

## 【教育動向】【心と体】より

文部科学省の「中高生を中心とした子供の生活習慣づくりに関する検討委員会」は、子どもたちの生活習慣を改善するため、「食育」の次の課題は「睡眠」の重要性を指摘した報告書をまとめました。また、厚生労働省は、「睡眠指針」を11年ぶりに改定して、適切な睡眠時間を取ることの重要性を訴えています。「睡眠教育」はこれからの新しいキーワードになるかもしれません。

**健全な生活習慣**のある子どもは、そうでない子どもよりも**学習意欲が高く、体力・運動能力も高い**傾向があることは、さまざまな調査で明らかになっています。睡眠時間が子どもの心身に与える影響を科学的に分析しながら、必要な睡眠時間を確保し、正しい睡眠習慣を身に付けることで、子どもの生活習慣を改善することができますとしています。

◆夜間にゲームやスマホなどを長く見ていると、その光で睡眠を誘うホルモンが抑制され、眠れなくなる。

◆レム睡眠（脳が覚醒）の際に、**脳内で記憶の整理・定着**が行われる。睡眠不足だと学習したことが脳内に定着せず、成績にも関係する。

◆ノンレム睡眠（脳が休息）の際、**成長ホルモンが大量**に分泌される。睡眠不足だと成長に影響したり、筋力やけがの回復に影響したりする。

◆夜型生活をしながら学校生活を続けていると、慢性的な睡眠不足によって、疲労感や情緒不安定をもたらし、判断力を鈍らせたり、「うつ」に近い状態になり、「こころの健康」に影響を及ぼしたりする。若年世代が夜型の生活を続けていると人間の体の中にある「**体内時計**」が次第にずれていき、朝に体内時計をリセットできなくなる恐れがあると指摘しています。子どもの夜更かしは体に悪いというのは、科学的に見ても本当のようです。

文科省の検討会議は、「食育」の重要性は社会的に認められているが、睡眠の重要性については、「疲れを取る」という程度しか知られていない現状にあるとして、「睡眠に関する教育をもっと行う必要がある」と提言しました。そのためには、なぜ睡眠が大切なのか科学的知見や根拠を示して説明するとともに、子どもたちだけでなく保護者にも働きかけることが大切だとしています。きちんとした**生活習慣の基本**は、正しい**食生活**、そして十分な**睡眠**といえそうです。長期休暇の時には生活習慣が乱れがちです。お互いに注意しましょう。

## いじめに関して

平成26年4月1日に 学校いじめ防止基本方針はHPに掲載しています。  
13 ページにわたりますので、一部を紹介します。

第1章 いじめ防止に関する本校の考え方

第2章 いじめ防止

第3章 早期発見

第4章 いじめに対する考え方

第5章 その他

## 第1章 いじめ防止に関する本校の考え方

### 1 基本理念

いじめは、その子どもの将来にわたって内面を深く傷つけるものであり、子どもの健全な成長に影響を及ぼす、まさに人権に関わる重大な問題である。全教職員が、いじめはもちろん、いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為も絶対に許さない姿勢で、どんな些細なことでも必ず親身になって相談に応じることが大切である。そのことが、いじめ事象の発生・深刻化を防ぎ、いじめを許さない生徒の意識を育成することになる。

そのためには、学校として教育活動の全てにおいて生命や人権を大切にす精神を貫くことや、教職員自身が生徒を一人ひとり多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、生徒の人格のすこやかな発達を支援するという生徒観・指導観に立ち指導を徹底することが重要となる。

本校では、建学の精神である「報恩感謝」の下、多感な成長期において、個性を互いに認め合い知・

徳・体のバランスのとれた人をつくる教育を目指している。人として生まれ、人間として生きる権利は何人にも侵されるものではなく「いじめ」は、その権利を大きく侵害するものである。

この理念に基づき、ここに学校いじめ防止基本方針を定める。

## 2 いじめの定義

「いじめ」とは、生徒に対して、その生徒と同じ学校に在籍している等、生徒と一定の人的関係にある他の生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった生徒が継続的に心身の苦痛を感じていると判断できるものをいう。

具体的ないじめの態様は、以下のようなものがある。

○冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言う。

○仲間はずれ、集団による無視をする。

○軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩いたり、蹴ったりする。

○ひどくぶつかったり、叩いたり、蹴ったりする。

○金品をたかる。

○金品を隠したり、盗んだり、壊したり、捨てたりする。

○嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをしたり、させたりする。

○パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをする 等

※ 一緒に遊んでいるように見え、悪ふざけ、冗談などを一定の生徒に集中させることにより、いじめに発展するケースが多い。

## 第2章 いじめ防止

### 1 基本的な考え方

いじめの未然防止にあたっては、教育・学習の場である学校・学級自体が人権尊重を徹底し、人権尊重の精神がみなぎっている環境であることが求められる。そのことを基盤として、人権に関する知的理解及び人権感覚を育む学習活動を各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間のそれぞれの特質に応じ、総合的に推進する必要がある。

特に、生徒が他者の痛みや感情を共感的に受容するための想像力や感受性を身につけ、対等で豊かな人間関係を築くための具体的なプログラムを作成する必要がある。そして、その取り組みの中で生徒同士の信頼ある人間関係づくりや人権を尊重した集団としての質を高めていくことが必要である。

### 2 いじめの防止のための措置

(1)平素からいじめについての共通理解を図るため、教職員に対していじめの態様や特質・原因・背景・具体的な指導上の留意点等について、校内研修や職員会議で周知を図る。

生徒に対しては、学校集会、学年集会やホームルーム活動等で日常的にいじめ問題に触れ「いじめは人間として絶対に許されない」との雰囲気や学校全体に醸成していくことが大切である。

(2)いじめに向かわない態度・能力を育成するために、自他の存在を認め合い、尊重し合える態度を養うことや、生徒が円滑に他者とコミュニケーションを図る能力を育てることが必要である。

そのために、日々の授業で自発的に発言したり、聴いたりできる姿勢を育てる。

(3)いじめが生まれる背景を踏まえた指導上の注意点

分かりやすい授業づくりを進めるために、すべての生徒が参加・活躍できる授業を目標に、すべての教職員が公開授業を行い、他教員より助言や指導を受ける。

生徒一人ひとりがかつやくできる集団づくりを進めるために参加型授業の工夫や多くの行事の立案計画を生徒の自主性をもとに作成し実施する。

ストレスに適切に対処できる力を育むために、よりよい集団づくり・社会性の育成を行い、友人関係や学習面等のストレス要因を緩和させる。

いじめを助長するような教職員の不適切な認識や言動等、指導のあり方に注意を払うため、校内研修や職員会議で生徒が傷つかないように、またいじめを容認するような発言のないよう周知徹底する。

## 第3章 早期発見

### 1 基本的な考え方

いじめの特性として、いじめにあっている生徒がいじめを認めることが恥ずかしいことであると考え、いじめの拡大を恐れるあまり訴えることができないことが多い。また、自分の思いをうまく伝え、訴えることが難しいなどの状況にある生徒がいじめにあっている場合は、隠匿性が高くなり、いじめが長期化・深刻化することがある。それゆえ、教職員には何気ない言動の中に心の訴えを感じ取る鋭い感性、隠れているいじめの構図に気づく深い洞察力、よりよい集団にしていこうとする積極的な行動力が求められる。

教職員は、生徒の些細な変化に注意し、気づいた情報は学年会議で報告し情報を共有する。また、ケースによって学年主任は生徒指導部長を通じて、いじめ防止対応委員会に報告する。

### 6 ネット上のいじめへの対応

(1) ネット上の不適切な書き込み等に対する必要な措置として、学校は問題の箇所を確認し、その箇所を保存・印刷するとともに学年主任（場合によってはコース主任）に報告、またいじめ防止対応委員会で協議し関係生徒からの事情聴取、いじめられた生徒のケア等必要な措置を講ずる。

(2) 書き込みへの対応については削除申請を行ない、当該生徒・保護者の精神的ケアに努める。問題を起こした生徒については本人の状況を把握し、適切な指導計画を練る。また、理事長に報告し、場合に応じて外部機関に連携を求める。

(3) 情報モラル教育を進めるため、生徒ガイダンス・情報の授業情報モラル講演会等、情報の受け手として、また、情報の発信者としてのモラルや必要な知識・技能を学習する多くの機会を設ける。

須永 博士  
たった一冊の詩集 より

